

郷地玉川自治会より







災害に対する自宅での備えは万全ですか?

東京にはさまざまな災害リスクが潜んでいます。いつもの暮らしに少しだけ手を加える、小さな 備えの積み重ねが、多くの命を守ります。今からできる準備を進めましょう。

で災害に備えましょう

「日常備蓄」は、災害に備えて特別な準備をするのではなく、 普段使っているものを常に少し多めに用意しておくことです。

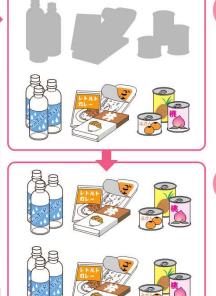
備蓄品の種類や量は、家庭構成や家族状況によって異なります。 まずは3日分、できれば1週間分を目標に備蓄を進め、災害に 備えましょう。



東京防災公式キャラクター 「防サイくん」

東京都で勧めている日常備蓄のイメージ





減った分を補充

●カセットコンロ ●懐中電灯 ●簡易トイレ ●充電式ラジオ など

災害時に 必要なもの

(被災地で重宝した品目)

女性の場合は、生理 用品、乳幼児·高齢 者がいる家庭では オムツなどを常備

常に少し多めの状態をキープ

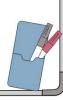
出典:「日常備蓄」で災害に備えよう(東京都総務局)

郷地玉川自治会から皆様へ

東京都が地域における防災意識の醸成と地域防災力の向上を図る目的として 町会・自治会が主催して行う防災対策への支援を発表しました。

「町会・自治会による防災対策普及啓発事業助成金」を利用して防災セットを配布します。

同封したチラシなどを参考に <u>いざという時の備え</u>を話し合って下さい。



東京都からのお知らせ



災害はいつ起こるかわかりません。

日ころの備えか大切です。

家族や地域の方々と、できることから、始めずしょう。

「備は、常に」

瑜娜 分一人也不成子



首都直下地震が発生すると、 建物倒壊や火災など様々な被害により、 生活に大きな影響がでます。



★詳細はコチラ

- ・揺れによる家具の転倒により下敷きとなる可能性
- ・電力、上下水道、ガスなどライフラインが途絶し、生活に大きな支障
- ・マンションでは水道が供給されても、当面トイレが利用できない可能性
- ・携帯電話はつながりにくく、スマホのバッテリーが切れると家族との連絡が困難に
 - ・家具転倒防止対策や災害時の家族との 連絡方法[※]の確認を行いましょう。



※ 災害用伝言ダイヤル(171)等で、家族の安否確認メッセージを登録・確認できます。

3日後~

- ・電力が復旧した際、倒れた電気ストーブや照明器具に接触する可燃物から<mark>通電火災が</mark> 発生する可能性
- ・被害状況によっては、ライフラインの復旧や計画停電が長期化する可能性
 - ・避難時は、必ずブレーカーを落としましょう。



- ・避難生活の継続によりストレスなどが増加
- ・スーパー・コンビニでは、生活必需品の品薄状態が継続
- ・点検終了までエレベーターが使用できず、外出等が困難
 - ・避難生活に備え、水や食料、携帯トイレ、 常備薬等を備蓄しましょう。

